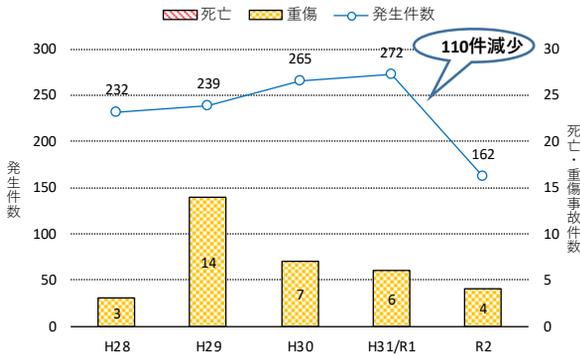


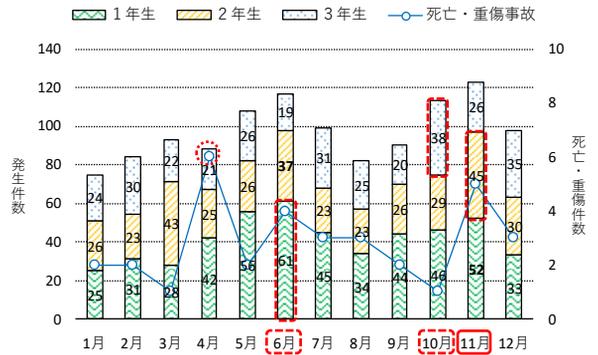
中学生が関係する交通事故発生状況 (平成28年～令和2年)

年別



月別

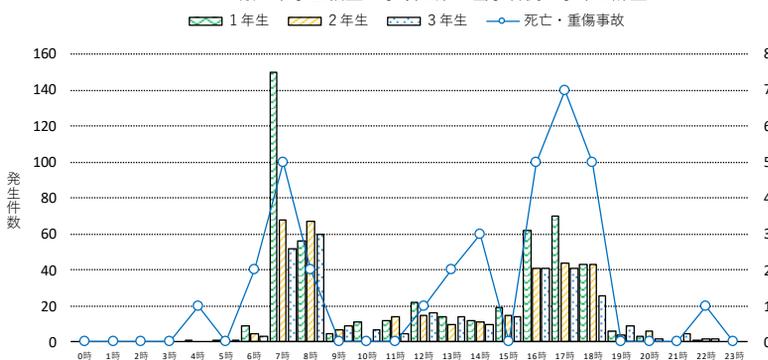
※ 中学生相互の事故は第一当事者側の学年で計上



- ・ 過去5年の発生状況は増加傾向を示していたが、令和2年に大きく減少
- ・ 月別発生状況は、事故総数では11月の発生が最も多く、次いで6月・10月の順に多い。
- ・ 学年別では、1年生は6月、2年生は11月、3年生は10月が最も多くなっている。
- ・ 重傷事故は、4月が6件で最も多く、次いで11月で5件発生している。

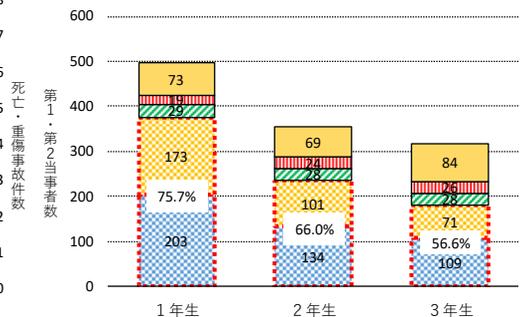
時間帯別

※ 中学生相互の事故は第一当事者側の学年で計上



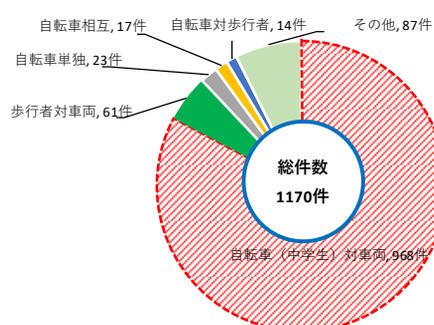
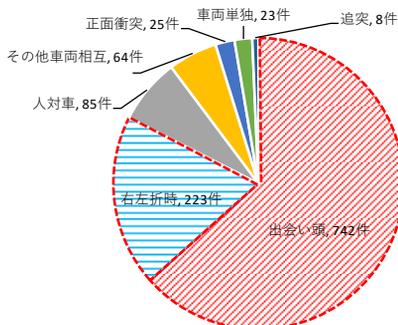
通行目的別

登校 下校 訪問 買物 その他



- ・ 時間帯別発生状況は、事故総数で最も多い時間帯は7時台、次いで8時台で、合わせて全体の約4割(38.7%)、16～18時台の発生も多く、前記時間帯で全体の約4分の3(73.8%)を占める。
- ・ 学年別では、1、2年生は7時台、3年生は8時台が多い。
- ・ 通行目的別は、登下校時(特に登校時)の発生が多く、全体の約7割(67.5%)を占め、低学年ほど、登下校中の発生割合が高い(棒グラフ内の数値参照)。

事故類型別発生状況



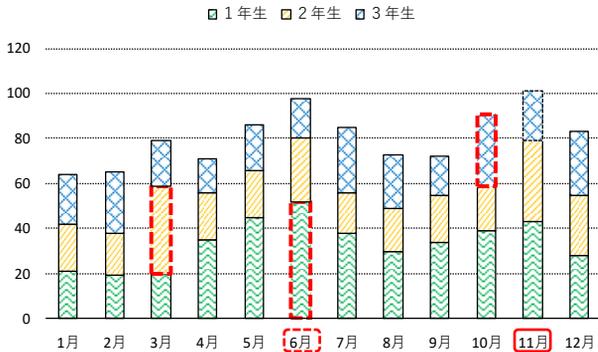
※ 「自転車対車両」事故の「車両」には、自動二輪車(原付含)を含む。

- ・ 事故類型別では、出会い頭が742件(63.4%)で最も多く、次いで右左折時が223件(19.1%)、この二類型で全体の8割以上(82.5%)を占める。
- ・ 事故の当事者別では、自転車(中学生)対車両が968件(82.7%)で、中学生の関係する交通事故の大半を占める。

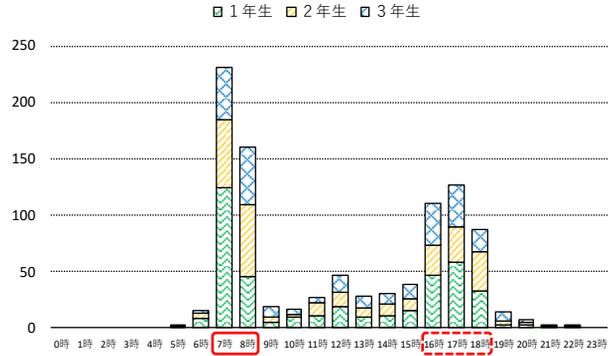
< 自転車乗車中の事故（自転車（中学生）対車両）発生状況 > ※ 車両は、自動二輪車（原付含）を含む

○ 学年別では、1年生が最も多く404件で全体の41.7%、次いで2年生が290件で30.0%、3年生が274件で28.3%

【月別】

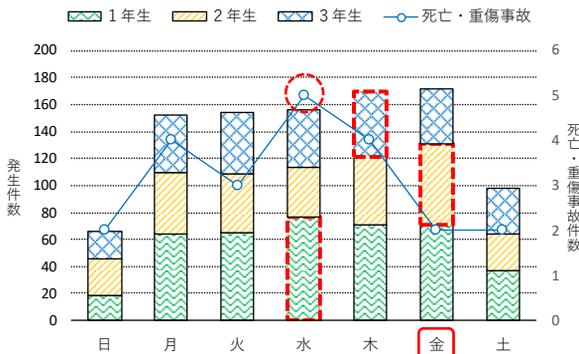


【時間帯別】

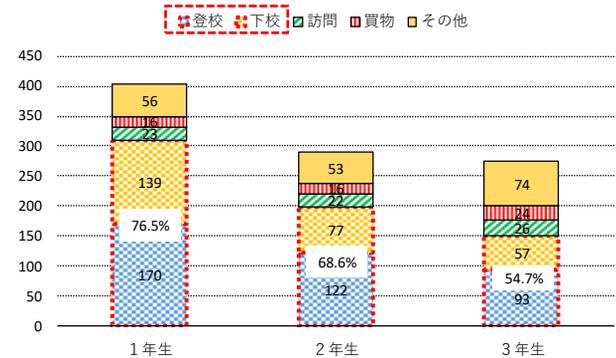


- 月別発生状況は、事故総数では11月が最も多く、次いで6月が多い。学年別では、1年生は6月が最も多く、2年生は3月、3年生は10月が最も多い。重傷事故（22件）は、2月を除く全月で発生しているが、4月中は4件発生し、最も多い。
- 時間帯別では、7時台が最も多く、次に多い8時台と合わせて、全体の約4割（40.4%）を占める。16～18時台の発生（33.6%）と合わせると、全体の4分の3（74.0%）を占める。重傷事故も上記時間帯で多く発生しているが、特に18時台が5件発生し、最も多い。

【曜日別】

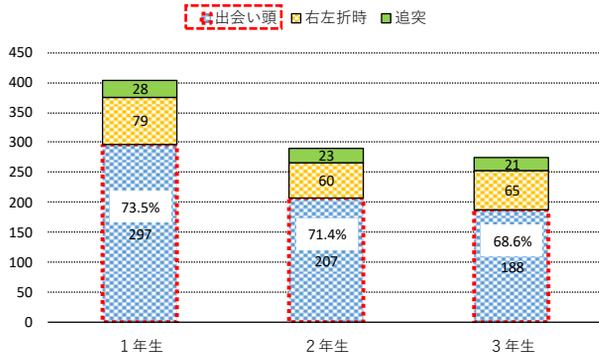


【通行目的別】

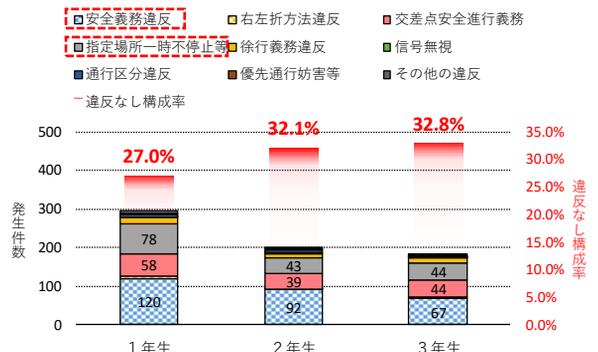


- 曜日別発生状況は、事故総数は金曜日及び重傷事故は水曜日が最も多い。学年別では、1年生は水曜日が最も多く、2年生は金曜日、3年生は木曜日が最も多い。
- 通行目的別では、登下校時（特に登校時）が多く発生し、全体の68.0%を占める。重傷事故（22件）は、8件が下校時、5件が登校時に発生している。

【事故類型別】



【法令違反別】



- 事故類型別発生状況は、各学年とも出会い頭事故が最も多く、全体の71.5%を占める。重傷事故（22件）は、20件（90.9%）が出会い頭事故
- 法令違反別（違反なしを除く）では、安全運転義務違反が全体の28.8%、次いで指定場所一時不停止等が全体の17.0%で多い。重傷事故は9件（40.9%）が指定場所一時不停止等の法令違反